

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 特 許 公 報(B1)

(11) 特許番号

特許第5636560号
(P5636560)

(45) 発行日 平成26年12月10日(2014. 12. 10)

(24) 登録日 平成26年10月31日(2014. 10. 31)

| | |
|--------------------------------|----------------|
| (51) Int. Cl. | F 1 |
| A 4 2 B 1/00 (2006. 01) | A 4 2 B 1/00 Z |
| A 4 2 B 1/20 (2006. 01) | A 4 2 B 1/00 B |
| | A 4 2 B 1/20 Z |

請求項の数 4 (全 24 頁)

| | | | |
|--------------|------------------------------|-----------|-------------------|
| (21) 出願番号 | 特願2014-119117 (P2014-119117) | (73) 特許権者 | 509197689 |
| (22) 出願日 | 平成26年6月9日(2014. 6. 9) | | 山地 涉 |
| 審査請求日 | 平成26年8月25日(2014. 8. 25) | | 山梨県大月市富浜町鳥沢2403-5 |
| (31) 優先権主張番号 | 特願2013-121553 (P2013-121553) | (74) 代理人 | 100080654 |
| (32) 優先日 | 平成25年6月10日(2013. 6. 10) | | 弁理士 土橋 博司 |
| (33) 優先権主張国 | 日本国(JP) | (72) 発明者 | 山地 涉 |
| | | | 山梨県大月市富浜町鳥沢2403-5 |
| 早期審査対象出願 | | 審査官 | 新田 亮二 |

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 一枚のシートから切り出した帽子

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ほぼ楕円形の一枚のシートからなり、
長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片と、
前記外周片の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に左右一对の係合片を2段に設けたU字片と、
前記U字片と前記外周片との間のU字部分をその中間で切断して形成した左右一对の短冊片と、
前記左右一对の短冊片の端部において切り離された庇片とを備え、
前記外周片の中間位置に一端を外周に向かって開放した切込みを形成するとともに、外周片の端部位置の内周に左右一对の係合片を形成し、
前記外周片の基部と、該外周片に形成した切込みの両側と、前記短冊片の先端部分とにそれぞれ前記係合片を差込む差込み口を形成してあり、
前記U字片の1段目の係合片を前記短冊片の先端部分の差込み口を經由して外周片に形成した切込みの内側に設けた差込み口に差込み、
前記U字片の2段目の係合片を前記外周片に形成した切込みの外側に設けた差込み口に差込み、
前記外周片を前記切込みの位置において折返して反転させ、該外周片の端部位置の内周に形成した係合片を前記外周片の基部に形成した差込み口に差込んで前記反転させた反転部が使用者の頭部を囲むようにし、

10

20

前記底片を組立後の帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたことを特徴とする一枚のシートから切り出した帽子。

【請求項 2】

前記外周片を前記切込みの位置において折返して形成した反転部は、さらに所定幅で内向きに折り返されていることを特徴とする請求項 1 に記載の一枚のシートから切り出した帽子。

【請求項 3】

前記底片は、前記 U 字片の先端の近傍に 2 段に形成された左右一对の係合片に対応する凹溝を備えており、該凹溝を前記組立後の帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたことを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の一枚のシートから切り出した帽子。

10

【請求項 4】

ほぼ楕円形の一枚のシートからなり、
前記シートの長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片と、
前記外周片の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に 2 段に左右一对の係合片を設けた U 字片と、
前記 U 字片と前記外周片との間の U 字部分をその中間の切断部で切断して形成した左右一对の短冊片と、
前記左右一对の短冊片の端部の前記切断部において切り離された底片とを備え、
前記外周片の中間位置に一端を外周に向かって開放した切込みを形成するとともに、前記外周片の基部の外周に沿って所定間隔で一对の係合片を形成し、
前記外周片に形成した切込みの両側と、前記短冊片の先端部分と、前記外周片の端部位置にそれぞれ前記係合片の差込み口を形成してあり、
前記 U 字片の 1 段目の係合片を前記短冊片の先端部分の差込み口を経由して外周片に形成した切込みの内側に設けた差込み口に差込み、
前記 U 字片の 2 段目の係合片を前記外周片に形成した切込みの外側に設けた差込み口に差込み、
前記外周片を前記切込みの位置において折返して反転させて、該反転させた反転部が使用者の頭部を囲むようにし、
前記底片を前記外周片と反転部との間に挿入し、前記外周片の基部の外周に沿って形成した一对の係合片を、前記底片に設けた差込み口を経由して、前記外周片の端部位置に設けた差込み口に差込んで、帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたことを特徴とする一枚のシートから切り出した帽子。

20

30

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は一枚のシートから切り出した帽子に関するものである。

【背景技術】

【0002】

特開 2009 - 57674 号公報（特許文献 1 参照）には、一枚のシートからなる本体の外周をつばとし、つばの内周内に分離境界線を設けることにより、頭を覆えるクラウン部並びにクラウン部の形状を保つ保持部とが一体に形成され、クラウン部と突片のデザインを可能とする構成を特徴とするシート式帽子が示されている。

40

【0003】

また、実開平 2 - 125925 号公報（特許文献 2 参照）には、一枚の台紙状の材料から、底と前額部覆片と天井部覆片と左右の側頭部覆片と、左右一对の後頭部覆片及び左右一对の係止用バンドとを分離することなく連続して切り抜き、所定の折り曲げ線に沿って折り曲げるとともに、前記左右一对の係止用バンドを係止して成形する帽子であって、前記左右一对の後頭部覆片の後端部に係止片を設け、該係止片を互いに重ね合わせて後頭部覆片に湾曲部を形成するとともに、該係止片を前記天井部覆片に形成した係止孔に係入して、前面湾曲部の弾力により天井部覆片をほぼ水平に支持するようにしたことを特徴とする

50

帽子が示されている。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特許公開2009-57674号公報

【特許文献2】実開平2-125925号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら前記特開2009-57674号公報（特許文献1参照）のシート式帽子において 10
 においては次のような問題点があった。

（イ）差込み式のものにおいては、着用する者の頭頂部が覆われないために屋外用の帽子
 としては不向きであった。

（ロ）また、組付けに面ファスナーや留具を使用するものにあつては、コストアップを招
 くとともに、廃棄や商品としての包装が面倒であるという問題があった。

【0006】

実開平2-125925号公報（特許文献2参照）の帽子においては次のような問題点があ
 った。

（イ）係止用バンドが外向きに伸びているため、原紙の面積が大きくなってコストアップ
 を招いてしまうという問題があった。 20

（ロ）また、側頭部覆片の幅が大きくなっているため、通気性において重要な側頭部が通
 気性をほとんど備えておらず、長期間着用すると蒸れてしまうという問題があった。

本発明は、これらの問題を解決するためになされたものである。

【課題を解決するための手段】

【0007】

すなわち本発明の一枚のシートから切り出した帽子は、

ほぼ楕円形の一枚のシートからなり、

長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片と、

前記外周片の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に左右一对の係合片
 を2段に設けたU字片と、 30

前記U字片と前記外周片との間のU字部分をその中間で切断して形成した左右一对の短冊
 片と、

前記左右一对の短冊片の端部において切り離された庇片とを備え、

前記外周片の中間位置に一端を外周に向かって開放した切込みを形成するとともに、外周
 片の端部位置の内周に左右一对の係合片を形成し、

前記外周片の基部と、該外周片に形成した切込みの両側と、前記短冊片の先端部分とにそ
 れぞれ前記係合片を差込む差込み口を形成してあり、

前記U字片の1段目の係合片を前記短冊片の先端部分の差込み口を經由して外周片に形成
 した切込みの内側に設けた差込み口に差込み、

前記U字片の2段目の係合片を前記外周片に形成した切込みの外側に設けた差込み口に差
 込み、 40

前記外周片を前記切込みの位置において折返して反転させ、該外周片の端部位置の内周に
 形成した係合片を前記外周片の基部に形成した差込み口に差込んで前記反転させた反転部
 が使用者の頭部を囲むようにし、

前記庇片を組立後の帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたことを特徴とするもので
 ある。

【0008】

本発明の一枚のシートから切り出した帽子において、前記外周片を前記切込みの位置にお
 いて折返して形成した反転部は、さらに所定幅で内向きに折り返されていることをも特徴
 とするものである。 50

【 0 0 0 9 】

本発明の一枚のシートから切り出した帽子において、前記底片は、前記U字片の先端の近傍に2段に形成された左右一对の係合片に対応する凹溝を備えており、該凹溝を前記組立後の帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたことをも特徴とするものである。

【 0 0 1 0 】

また本発明の一枚のシートから切り出した帽子は、
 ほぼ楕円形の一枚のシートからなり、
 前記シートの長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片と、
 前記外周片の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に2段に左右一对の係合片を設けたU字片と、

10

前記U字片と前記外周片との間のU字部分をその中間の切断部で切断して形成した左右一对の短冊片と、
 前記左右一对の短冊片の端部の前記切断部において切り離された底片とを備え、
 前記外周片の中間位置に一端を外周に向かって開放した切込みを形成するとともに、前記外周片の基部の外周に沿って所定間隔で一对の係合片を形成し、
 前記外周片に形成した切込みの両側と、前記短冊片の先端部分と、前記外周片の端部位置にそれぞれ前記係合片の差込み口を形成してあり、
 前記U字片の1段目の係合片を前記短冊片の先端部分の差込み口を經由して外周片に形成した切込みの内側に設けた差込み口に差込み、
 前記U字片の2段目の係合片を前記外周片に形成した切込みの外側に設けた差込み口に差込み、

20

前記外周片を前記切込みの位置において折返して反転させて、該反転させた反転部が使用者の頭部を囲むようにし、
 前記底片を前記外周片と反転部との間に挿入し、前記外周片の基部の外周に沿って形成した一对の係合片を、前記底片に設けた差込み口を經由して、前記外周片の端部位置に設けた差込み口に差込んで、帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたことをも特徴とするものである。

【 発明の効果 】

【 0 0 1 1 】

本発明は一枚のシートからなる簡便な帽子であり、使用時はU字片と左右一对の短冊片とを、前記U字片に設けた1段目の係合片を前記短冊片に形成した差込み口に差込んで組付け、さらにU字片と外周片とを、前記U字片に設けた2段目の係合片を前記外周片に形成した差込み口に差込んで組付けるとともに、前記外周片を所定位置で折返した上で、該外周片の端部位置の内周に形成した係合片を前記外周片の基部に形成した差込み口に差込んで前記反転部が使用者の頭部を囲むようにし、必要に応じて前記底片を組立後の帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたものである。

30

【 0 0 1 2 】

以上の構成を採用したことにより、本発明の一枚のシートから切り出した帽子は以下のような効果を奏するものである。

a) U字片と左右一对の短冊片、短冊片と外周片との間に十分な間隙を具備することができて通気性がよく、しかも着用する者の頭頂部が確実に覆われるために屋外用の帽子として好適である。

40

b) また、組付けに面ファスナーや留具を使用しないため、コストアップを招いてしまうことがなく、かつ廃棄や商品としての包装もきわめて容易である。

c) 全体が楕円形の輪郭内に収まっているため、使用する一枚のシートの面積が小さく済み、コストの低減を図ることができる。

d) U字片と左右一对の短冊片、短冊片と外周片との間に十分な間隙を具備して通気性が良好であるうえ、前記外周片の反転部が使用者の頭部を囲むようにしたので側頭部も通気性を備えていて、長期間着用しても蒸れるおそれがない。

e) この発明の帽子(組立後の完成品)を着用することにより、頭上からの雨や直射日光

50

をほぼ完全に遮ることができ、雨や紫外線の害から頭部を保護することができる。

【図面の簡単な説明】

【 0 0 1 3 】

【図 1】本発明の第 1 実施例を示す平面図である。

【図 2】底片を切り離し、U 字片と短冊片とを組付ける状態の斜視図である。

【図 3】U 字片と短冊片とを組付ける状態の斜視図である。

【図 4】U 字片と短冊片および外周片を組付ける状態の斜視図である。

【図 5】U 字片と短冊片および外周片を組付けた状態の斜視図である。

【図 6】図 5 を背面側から見た斜視図である。

【図 7】外周片の両側を折返した状態を背面側から見た斜視図である。

10

【図 8】外周片をさらに幅方向の中ほどから折返す段階を示す斜視図である。

【図 9】帽子本体が完成した状態の底面図である。

【図 10】完成状態を斜め上から俯瞰した斜視図である。

【図 11】帽子本体に底片を取付けようとしている状態の斜視図である。

【図 12】底片の取付工程を示し、(a) は組み付け前を、(b) は組み付け途中を、(c) は組み付けた状態を示す平面図である。

【図 13】組み付け完了後の前方から俯瞰した斜視図である。

【図 14】その側面図である。

【図 15】本発明の第 2 実施例を示す平面図である。

【図 16】底片を切り離した状態の平面図である。

20

【図 17】底片を切り離した状態の立体図である。

【図 18】U 字片と短冊片とを組付ける状態の斜視図である。

【図 19】U 字片と短冊片および外周片を組付けた状態の斜視図である。

【図 20】U 字片と外周片を組付ける状態の斜視図である。

【図 21】U 字片と外周片を組付けた状態の斜視図である。

【図 22】U 字片と短冊片および外周片を組付けた状態の斜視図である。

【図 23】図 22 を背面側から見た斜視図である。

【図 24】反転部を広げた状態を背面側から見た背面図である。

【図 25】その要部拡大図である。

【図 26】反転部を外周片に連結する場合の係合片を外周片の差込み口に挿通した状態の要部拡大図である。

30

【図 27】反転部を外周片に連結する場合の係合片を外周片の他方の差込み口に挿通した状態の要部拡大図である。

【図 28】反転部を外周片に連結する場合の係合片を反転部の差込み口に挿通した状態の要部拡大図である。

【図 29】底片の取付工程を示し、組み付け前の状態を示す要部拡大底面図である。

【図 30】底片を外周片と反転部の間に組み付けた状態を示す要部拡大底面図である。

【図 31】係合片を組み付けた状態を示す要部拡大底面図である。

【図 32】輪ゴムを取り付けた状態を示す要部拡大底面図である。

【図 33】組み付け完了後の前方から俯瞰した斜視図である。

40

【図 34】本発明の第 3 実施例を示す平面図である。

【図 35】底片を切り離した状態の平面図である。

【図 36】底片を切り離した状態の立体図である。

【図 37】U 字片と短冊片を組付けた状態の斜視図である。

【図 38】U 字片と短冊片および外周片を組付けた状態の斜視図である。

【図 39】U 字片と外周片を組付ける状態の斜視図である。

【図 40】U 字片と外周片を組付けた状態の斜視図である。

【図 41】U 字片と短冊片および外周片を組付けた状態の斜視図である。

【図 42】図 41 を背面側から見た斜視図である。

【図 43】反転部を広げた状態を背面側から見た背面図である。

50

【図 4 4】その要部拡大図である。

【図 4 5】底片の取付工程を示し、底片を外周片と反転部の間に組み付ける状態を示す要部拡大底面図である。

【図 4 6】底片を外周片と反転部の間に組み付けた状態の要部拡大底面図である。

【図 4 7】底片の差込み口に外周片の係合片を差込んだ状態を斜めから見た要部拡大底面図である。

【図 4 8】外周片の係合片を反転部の差込み口に差込んだ状態を示す底面図である。

【図 4 9】底片の外側片を反転部の差込み口に差込んだ状態を示す底面図である。

【図 5 0】輪ゴムを取り付けた状態を示す底面図である。

【発明を実施するための形態】

10

【0014】

以下、本発明の一枚のシートから切り出した帽子の実施の形態について、図面に基いて詳細に説明する。

本発明の第 1 実施例を示す図 1 において、本実施例の一枚のシートから切り出した帽子は以下のように構成されている。

すなわち、本実施例の帽子 11 は、ほぼ楕円形の一枚のシート 11 a からなるものである。このシート 11 a の素材としては、厚さが約 1 ~ 3 mm 程度の素材を使用することが望ましく、該素材としては布や厚紙、EVA (エチレン・ビニル・アセテート) シート等の軟質プラスチックシート、断熱性のあるプラスチック製の発泡シート、あるいはこれらの複合シートのみならず、剛性のあるプラスチックシートやカーボン材等からなる FRP シート、あるいはこれらの複合シートを使用することができる。

20

【0015】

そして前記帽子 11 には、前記シート 11 a の長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片 12 と、前記外周片 12 の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に 2 段に左右一対の係合片 14 a, 14 b および係合片 15 a, 15 b を設けた U 字片 13 と、前記 U 字片 13 と前記外周片 12 との間の U 字部分をその中間の切断部 16 a で切断して形成した左右一対の短冊片 16, 16 と、前記左右一対の短冊片 16, 16 の端部の前記切断部 16 a において切り離された底片 17 が形成されている。

【0016】

また、前記外周片 12 の中間位置には、一端を外周に向かって開放した切込み 12 a を形成するとともに、前記外周片 12 は前記切込み 12 a 位置において折返して反転される。

30

18 はその反転部である。

また、前記外周片 12 の反転部 18 の端部位置の内周には、左右一対の係合片 12 b, 12 c が形成してある。

なお、前記外周片 12 には該反転部 18 においてさらに所定の幅で幅方向かつ内向きに折り返した折返し部 18 b が形成されている。

さらに、前記外周片 12 の基部と、該外周片 12 に形成した前記切込み 12 a の両側と、前記短冊片 16, 16 の先端部分とにそれぞれ前記係合片 12 b, 12 c および係合片 14 a, 14 b もしくは係合片 15 a, 15 b を差込む差込み口 21 a, 21 b, 21 c, 21 d が形成してある。

40

図において 22 a, 22 b は前記反転部 18 の折返し部分の両側において、前記切込み 12 a 側にそれぞれ設けた紐通し孔である。また 23 は前記 U 字片 13 の先端に設けた目隠し片である。

【0017】

したがって前記一枚のシート 11 a からの帽子の組み立ては、以下の工程で行うことができる。

1) まず図 2 に示すように、前記左右一対の短冊片 16, 16 の端部の前記切断部 16 a において底片 17 を切り離す。

2) 次に、図 3 に示すように、前記 U 字片 13 の 1 段目の係合片 14 a, 14 b を、前記短冊片 16, 16 の先端部分の差込み口 21 a を経由して、外周片 12 に形成した切込

50

み 1 2 a の内側に設けた差込み口 2 1 b に差込む。

また図 4 および図 5 に示すように、前記 U 字片 1 3 の 2 段目の係合片 1 5 a , 1 5 b を前記外周片 1 2 に形成した切込み 1 2 a の外側に設けた差込み口 2 1 c に差込む。

【 0 0 1 8 】

3) その上で図 6 に示すように、前記外周片 1 2 の反転部 1 8 を前記切込み 1 2 a の位置において折返す。

その後、図 7 に示すように、前記外周片 1 2 の反転部 1 8 の内周に設けた係合片 1 2 b , 1 2 c を前記外周片 1 2 の基部に設けた差込み口 2 1 d に差込む。

4) さらに図 8 に示すように、前記外周片 1 2 は反転部 1 8 においてさらに所定の幅で幅方向かつ内向きに折り返し、係合片 1 8 a に差込み口 2 1 e をはめ込んで止めることによりその幅を狭め、該折返し部 1 8 b が使用者の側頭部を挟むようにして使用者の頭部に装着することができる。

もちろん、前記折返し部 1 8 b の係止手段としてはステーブラやクリップ、接着剤、両面粘着テープ等を使用してもよい。

なお、帽子の組立後、接着や縫い付けにより各部位を固定したり、不要な部位を切り取ることも可能である。

図 9 はその完成状態を示すものであり、前記紐通し孔 2 2 a , 2 2 b にゴム紐 2 2 c を通して結束してあり、その弾力でサイズの大きさを吸収したり、長さを調節して前記外周片 1 2 のサイズを変えられるようになっている。

図 1 0 は完成状態を斜め上から俯瞰したものである。

5) 前記底片 1 7 は、図 2 に示すように、前記 U 字片 1 3 の先端の近傍に 2 段に形成された左右一对の係合片 1 4 a , 1 4 b および係合片 1 5 a , 1 5 b に対応する一对の凹溝 1 7 a , 1 7 b とその間の扇形片 1 7 c および切込み 1 7 d を備えており、該凹溝 1 7 a , 1 7 b 、扇形片 1 7 c および切込み 1 7 d を前記組立後の帽子本体の適宜位置に必要なに応じて取り付け、あるいは差し込む。

【 0 0 1 9 】

前記底片 1 7 は図 1 1 に示すように、前記外周片 1 2 の折返し後の上部と折返し後の反転部 1 8 との間に差込んで底として利用することができる。

すなわち、図 1 2 (a) のように、完成した帽子本体の端部に向かって前記底片 1 7 の開口端を向き合わせる。そして、前記帽子本体の外周片 1 2 の上部と折返し後の反転部 1 8 との間に挿入し、図 1 2 (b) に示すように、前記底片 1 7 の凹溝 1 7 a を前記外周片 1 2 の上部と折返し後の反転部 1 8 を連結している係合片 1 2 b , 1 2 c に差込む。

図 1 2 (c) は前記帽子本体に底片 1 7 を取付け終わった状態を示している。

また図 1 3 は組み付け完了後の前方から俯瞰した斜視図、図 1 4 はその側面図である。

【 0 0 2 0 】

前記底片 1 7 は、前記 U 字片 1 3 と前記短冊片 1 6 , 1 6 との間に差込んで飾りとして利用したり、前記外周片 1 2 の基部とその下部に位置する反転部 1 8 の先端との間に差込んで後頭部の覆いとして利用することもできる。

その際、前記凹溝 1 7 a , 1 7 b が差込み位置において外周片 1 2 や U 字片 1 3 、短冊片 1 6 , 1 6 と係合するように装着すれば、前記底片 1 7 は抜け落ちることなく確実に帽子本体に取り付けることができる。

【 0 0 2 1 】

以上の構成を採用したことにより、本発明は以下のような効果を奏するものである。

a) U 字片 1 3 と左右一对の短冊片 1 6 , 1 6 、短冊片 1 6 , 1 6 と外周片 1 2 との間に十分な間隙を具備することができて通気性がよく、しかも着用する者の頭頂部が確実に覆われるために屋外用の帽子として好適である。

b) また、組付けに面ファスナーや留具を使用しないため、コストアップを招いてしまうことがなく、かつ廃棄や商品としての包装もきわめて容易である。

c) 全体が楕円形の輪郭内に収まっているため、使用する一枚のシート 1 1 a の面積が小さく済み、コストの低減を図ることができる。

10

20

30

40

50

d) U字片 1 3 と左右一对の短冊片 1 6 , 1 6、短冊片 1 6 , 1 6 と外周片 1 2 との間に十分な間隙を具備して通気性が良好であるうえ、前記外周片 1 2 の反転部 1 8 が使用者の頭部を囲むようにしたので側頭部も通気性を備えていて、長期間着用しても蒸れるおそれがない。

e) 全体が楕円形の輪郭内に収まっているため、さまざまなデザインの印刷が簡易にできる。

【 0 0 2 2 】

本発明の第 2 実施例を示す図 1 5 において、本実施例の一枚のシートから切り出した帽子は以下のように構成されている。

すなわち、本実施例の帽子 3 1 は、ほぼ楕円形一枚のシート 3 1 a からなるものである。このシート 3 1 a の素材としては、第 1 実施例におけるものと同様のものでよい。

【 0 0 2 3 】

そして前記帽子 3 1 には、前記シート 3 1 a の長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片 3 2 と、前記外周片 3 2 の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に 2 段に左右一对の係合片 3 4 a , 3 4 b および係合片 3 5 a , 3 5 b を設けた U 字片 3 3 と、前記 U 字片 3 3 と前記外周片 3 2 との間の U 字部分をその中間の切断部 3 6 a で切断して形成した左右一对の短冊片 3 6 , 3 6 と、前記左右一对の短冊片 3 6 , 3 6 の端部の前記切断部 3 6 a において切り離された底片 3 7 が形成されている。

【 0 0 2 4 】

また、前記外周片 3 2 の中間位置には、一端を外周に向かって開放した切込み 3 2 a を形成するとともに、前記外周片 3 2 は前記切込み 3 2 a 位置において折返して反転される。3 8 はその反転部である。

また、前記外周片 3 2 の反転部 3 8 の端部位置の内周近傍には、左右一对の係合片 3 2 b , 3 2 c が形成してある。

さらに、前記短冊片 3 6 , 3 6 の先端部分と、前記外周片 3 2 に形成した前記切込み 3 2 a の両側および外周片の反転位置と、前記外周片 3 2 の基部にそれぞれ前記係合片 3 2 b , 3 2 c および係合片 3 4 a , 3 4 b もしくは係合片 3 5 a , 3 5 b を差込む差込み口 4 1 a , 4 1 b , 4 1 c , 4 1 d , 4 1 e , 4 1 f , 4 1 g が形成してある。

図において 4 2 a , 4 2 b , 4 2 c は前記反転部 3 8 の切込み 3 2 a 側に所定間隔で設けた輪ゴム係合片である。また 4 3 は前記 U 字片 1 3 の先端に設けた目隠し片である。

【 0 0 2 5 】

したがって前記一枚のシート 3 1 a からの帽子の組み立ては、以下の工程で行うことができる。

1) まず図 1 6 及び図 1 7 に示すように、前記左右一对の短冊片 3 6 , 3 6 の端部の前記切断部 3 6 a において底片 3 7 を切り離す。

2) 次に、図 1 8 に示すように、前記 U 字片 3 3 の 1 段目の係合片 3 4 a , 3 4 b を、前記短冊片 3 6 , 3 6 の先端部分の差込み口 4 1 a を経由して、図 1 9 に示すように、外周片 3 2 に形成した切込み 3 2 a の内側に設けた差込み口 4 1 b に差込む。

また図 2 0 および図 2 1 に示すように、前記 U 字片 3 3 の 2 段目の係合片 3 5 a , 3 5 b を前記外周片 3 2 に形成した切込み 3 2 a の外側に設けた差込み口 4 1 c に差込む。

【 0 0 2 6 】

3) その上で図 2 2、図 2 3 に示すように、前記外周片 3 2 の反転部 3 8 を前記切込み 3 2 a の位置において折返す。

その後、図 2 4 および図 2 5 に示すように、前記 U 字片 3 3 の 1 段目の係合片 3 4 a , 3 4 b を前記外周片 3 2 の反転部に設けた差込み口 4 1 d に差込む。

4) さらに図 2 6 に示すように、前記外周片 3 2 の反転部 3 8 の内周近傍に設けた前記係合片 3 2 b , 3 2 c を前記外周片 3 2 の基部に設けた 2 つの差込み口 4 1 e の第 1 差込み口に差込み、図 2 7 に示すように第 2 差込み口 4 1 e から前記係合片 3 2 b , 3 2 c の先端を引き出す。その上で、図 2 8 に示すように、前記係合片 3 2 b , 3 2 c の先端を前記外周片 3 2 の反転部 3 8 の内周近傍に設けた前記係合片 3 2 b , 3 2 c の近くに配置した

差込み口 4 1 f に差込む。

5) 前記底片 3 7 は、図 2 9 に示すように、前記 U 字片 3 3 の先端の近傍に 2 段に形成された左右一対の係合片 3 4 a , 3 4 b および係合片 3 5 a , 3 5 b に対応する一対の凹溝 3 7 a , 3 7 b とその間の扇形片 3 7 c 、外側片 3 7 d を備えており、該扇形片 3 7 c 、外側片 3 7 d を前記組立後の帽子本体の適宜位置に必要な応じて取り付け、あるいは差し込む。

【 0 0 2 7 】

前記底片 3 7 は図 3 0 に示すように、前記外周片 3 2 の折返し後の上部と折返し後の反転部 3 8 との間に差込んで底として利用することができる。

すなわち、図 3 0 のように、前記底片 3 7 の開口端を向き合わせ、前記帽子本体の外周片 3 2 の上部と折返し後の反転部 3 8 との間に挿入して前記底片 3 7 の扇形片 3 7 c と外側片 3 7 d を前記外周片 3 2 の上部と折返し後の反転部 3 8 を連結している係合片 3 2 b , 3 2 c を挟むように差込む。

次いで、図 3 1 に示すように、前記外側片 3 7 d の先端を折り返して前記係合片 3 2 b , 3 2 c からやや離して配置した差込み口 4 1 g に差込む。

図 3 2 はその完成状態を示すものであり、前記反転部 3 8 の切込み 3 2 a 側に所定間隔で設けた輪ゴム係合片 4 2 a , 4 2 b , 4 2 c のどれかに輪ゴム 4 4 を係合させてあり、その弾性でサイズの大小を吸収したり、長さを調節して前記外周片 3 2 のサイズを変えられるようになっている。

図 3 3 は輪ゴムを取り付けた状態を示すものである。

【 0 0 2 8 】

本発明の第 3 実施例を示す図 3 4 において、本実施例の一枚のシートから切り出した帽子は以下のように構成されている。

すなわち、本実施例の帽子 5 1 は、ほぼ楕円形の一枚のシート 5 1 a からなるものである。このシート 5 1 a の素材としては、第 1 実施例におけるものと同様のものでよい。

【 0 0 2 9 】

そして前記帽子 5 1 には、前記シート 5 1 a の長さ方向の一端を残して所定幅に切れ目を形成して設けた外周片 5 2 と、前記外周片 5 2 の内部に所定幅を残して切れ目を形成し、かつ先端の近傍に 2 段に左右一対の係合片 5 4 a , 5 4 b および係合片 5 5 a , 5 5 b を設けた U 字片 5 3 と、前記 U 字片 5 3 と前記外周片 5 2 との間の U 字部分をその中間の切断部 5 6 a で切断して形成した左右一対の短冊片 5 6 , 5 6 と、前記左右一対の短冊片 5 6 , 5 6 の端部の前記切断部 5 6 a において切り離された底片 5 7 が形成されている。この底片 5 7 の開口部には前記係合片 5 4 a , 5 4 b もしくは係合片 5 5 a , 5 5 b に対応して扇形片 5 7 a と外側片 5 7 b が形成されている。6 1 e は前記扇形片 5 7 a と外側片 5 7 b の間において、底片 5 7 に形成された差込み口である。

【 0 0 3 0 】

また、前記外周片 5 2 の中間位置には、一端を外周に向かって開放した切込み 5 2 a を形成するとともに、前記外周片 5 2 は前記切込み 5 2 a 位置において折返して反転される。5 8 はその反転部である。

さらに、前記外周片 5 2 の基部の外周に沿って、所定間隔で一対の係合片 5 2 b , 5 2 c が形成してある。

そして、前記短冊片 5 6 , 5 6 の先端部分と、前記外周片 5 2 に形成した前記切込み 5 2 a の両側および外周片の反転位置と、前記外周片 5 2 の基部にそれぞれ前記係合片 5 2 b , 5 2 c および係合片 5 4 a , 5 4 b もしくは係合片 5 5 a , 5 5 b を差込む差込み口 6 1 a , 6 1 b , 6 1 c , 6 1 d , 6 1 e , 6 1 f , 6 1 g が形成してある。

図において 6 2 a , 6 2 b , 6 2 c は前記反転部 5 8 の切込み 5 2 a 側に所定間隔で設けた輪ゴム係合片である。また 6 3 は前記 U 字片 1 3 の先端に設けた目隠し片である。

【 0 0 3 1 】

したがって前記一枚のシート 5 1 a からの帽子の組み立ては、以下の工程で行うことができる。

10

20

30

40

50

1) まず図35及び図36に示すように、前記左右一对の短冊片56, 56の端部の前記切断部56aにおいて底片57を切り離す。

2) 次に、図37に示すように、前記U字片53の1段目の係合片54a, 54bを、前記短冊片56, 56の先端部分の差込み口61aを經由して、図38に示すように、外周片52に形成した切込み52aの内側に設けた差込み口61bに差込む。

また図39および図40に示すように、前記U字片53の2段目の係合片55a, 55bを前記外周片52に形成した切込み52aの外側に設けた差込み口61cに差込む。

【0032】

3) その上で図41、図42に示すように、前記外周片52の反転部58を前記切込み52aの位置において折返す。

10

その後、図43および図44に示すように、前記U字片53の1段目の係合片54a, 54bを前記外周片52の反転部に設けた差込み口61dに差込む。

【0033】

4) 前記底片57は図45以下に示すように、前記外周片52の折返し後の上部と折返し後の反転部58との間に差込んで底として利用することができる。

すなわち、図45のように、前記底片57の開口端を向き合わせ、前記帽子本体の外周片52の上部と折返し後の反転部58との間に差込む。

5) 次に、図46および図47に示すように、前記外周片52の基部の外周に沿って形成した一对の係合片52b, 52cを、底片57の前記扇形片57aと外側片57bの間において、底片57に形成された差込み口61eに差込み、その上で、図48に示すように、前記外周片52の先端に形成した差込み口61fに差込む。

20

次に、図49に示すように、前記外側片57bを外周片52の内側から折返し、前記外周片52の先端に形成したもう一方の差込み口61gに差込む。

【0034】

図50はその完成状態を示すものであり、前記反転部58の切込み52a側に所定間隔で設けた輪ゴム係合片62a, 62b, 62cのどれかに輪ゴム64を係合させてあり、その弾性でサイズの大きさを吸収したり、長さを調節して前記外周片52のサイズを変えられるようになっている。

【産業上の利用可能性】

【0035】

30

本発明の一枚のシートから切り出した帽子は以上のように構成したので、屋外イベントやスポーツ観戦等の際に、帽子の素材となる一枚のシートを販売あるいは提供することにより、利用者が簡単に組み立てることができるので非常に便利である。

もちろん、屋外イベントやスポーツ観戦等の際のみならず、販売促進用のグッズとして、あるいはハイキングなどすべての屋外活動での日除けや雨除けなどの用途に適宜利用することができる。

【符号の説明】

【0036】

11 帽子

11a 一枚のシート

40

12 外周片

12a 切込み

12b, 12c 係合片

13 U字片

14a, 14b 係合片

15a, 15b 係合片

16, 16 短冊片

16a 切断部

17 底片

17a, 17b 凹溝

50

| | | |
|---|--------|----|
| 1 7 c | 扇形片 | |
| 1 7 d | 切込み | |
| 1 8 | 反転部 | |
| 1 8 a | 係合片 | |
| 1 8 b | 折返し部 | |
| 2 1 a , 2 1 b , 2 1 c , 2 1 d , 2 1 e | 差込み口 | |
| 2 2 a , 2 2 b | 紐通し孔 | |
| 2 2 c | ゴム紐 | |
| 2 3 | 目隠し片 | |
| 3 1 | 帽子 | 10 |
| 3 1 a | 一枚のシート | |
| 3 2 | 外周片 | |
| 3 2 a | 切込み | |
| 3 2 b , 3 2 c | 係合片 | |
| 3 3 | U字片 | |
| 3 4 a , 3 4 b | 係合片 | |
| 3 5 a , 3 5 b | 係合片 | |
| 3 6 , 3 6 | 短冊片 | |
| 3 6 a | 切断部 | |
| 3 7 | 庇片 | 20 |
| 3 7 a , 3 7 b | 凹溝 | |
| 3 7 c | 扇形片 | |
| 3 7 d | 外側片 | |
| 3 8 | 反転部 | |
| 4 1 a , 4 1 b , 4 1 c , 4 1 d , 4 1 e , 4 1 f , 4 1 g | 差込み口 | |
| 4 2 a , 4 2 b , 4 2 c | 輪ゴム係合片 | |
| 4 3 | 目隠し片 | |
| 5 1 | 帽子 | |
| 5 1 a | 一枚のシート | |
| 5 2 | 外周片 | 30 |
| 5 2 a | 切込み | |
| 5 2 b , 5 2 c | 係合片 | |
| 5 3 | U字片 | |
| 5 4 a , 5 4 b | 係合片 | |
| 5 5 a , 5 5 b | 係合片 | |
| 5 6 , 5 6 | 短冊片 | |
| 5 6 a | 切断部 | |
| 5 7 | 庇片 | |
| 5 7 a | 扇形片 | |
| 5 7 b | 外側片 | 40 |
| 5 8 | 反転部 | |
| 6 1 a , 6 1 b , 6 1 c , 6 1 d , 6 1 e , 6 1 f , 6 1 g | 差込み口 | |
| 6 2 a , 6 2 b , 6 2 c | 輪ゴム係合片 | |
| 6 3 | 目隠し片 | |

【要約】

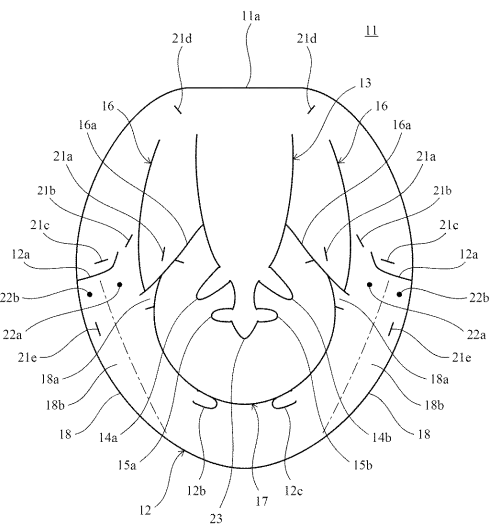
【課題】一枚のシートから切り出した帽子を提供する。

【解決手段】本発明は一枚のシートからなる簡便な帽子であり、使用時はU字片と左右一对の短冊片とを、前記U字片に設けた1段目の係合片を前記短冊片に形成した差込み口に差込んで組付け、さらにU字片と外周片とを、前記U字片に設けた2段目の係合片を前記外周片に形成した差込み口に差込んで組付けるとともに、前記外周片を所定位置で折返し

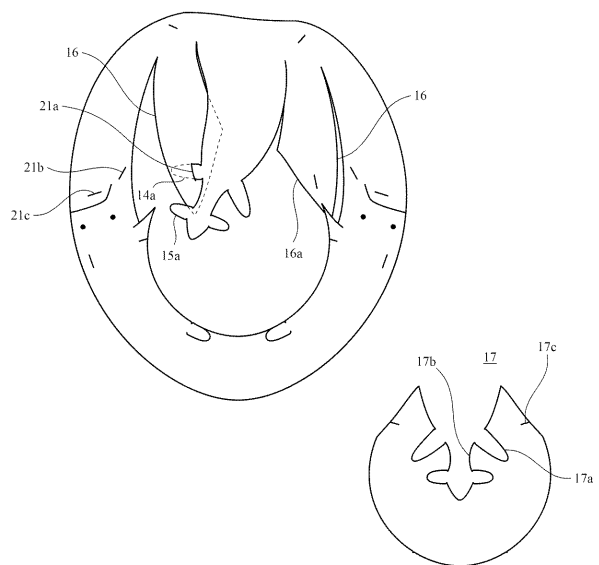
た上で、該外周片の端部位置の内周に形成した係合片を前記外周片の基部に形成した差込み口に差込んで前記反転部が使用者の頭部を囲むようにし、必要に応じて前記底片を組立後の帽子本体の適宜位置に取り付けるようにしたものである。

【選択図】図 1

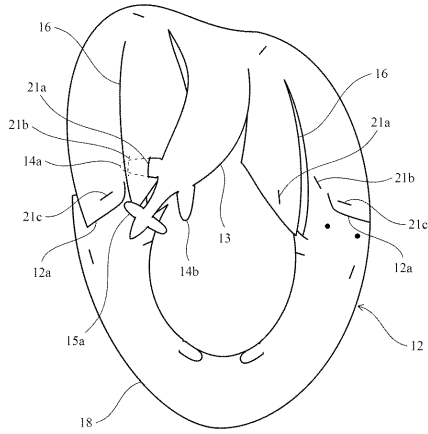
【図 1】



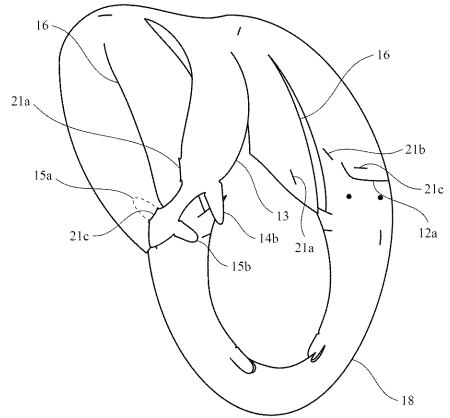
【図 2】



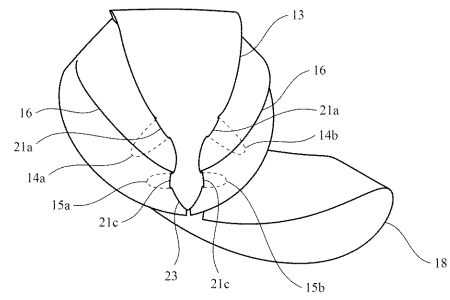
【 図 3 】



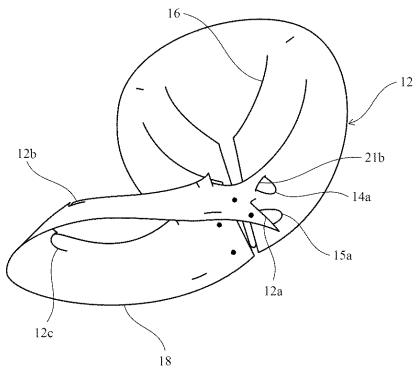
【 図 4 】



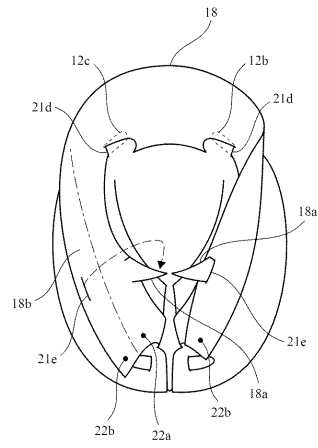
【 図 5 】



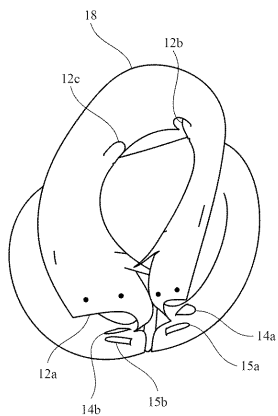
【 図 6 】



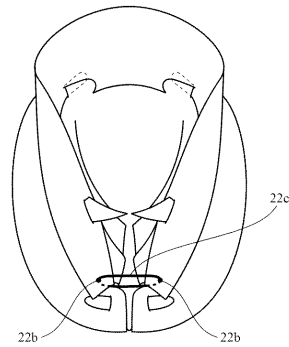
【 図 8 】



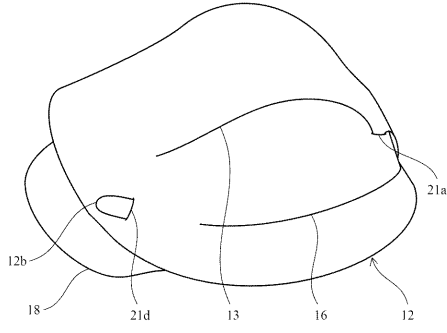
【 図 7 】



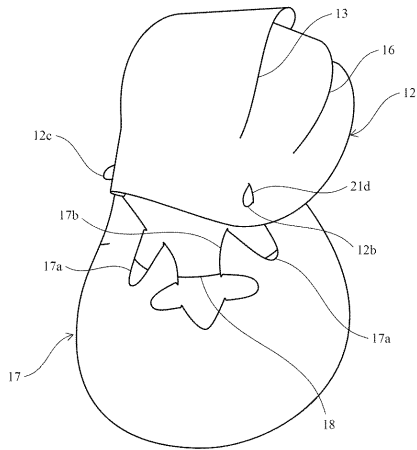
【 図 9 】



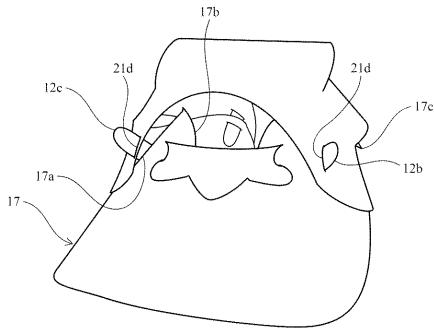
【図 10】



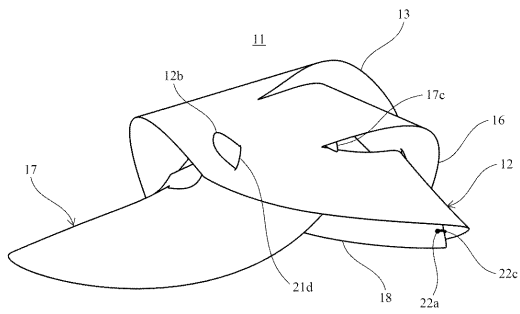
【図 11】



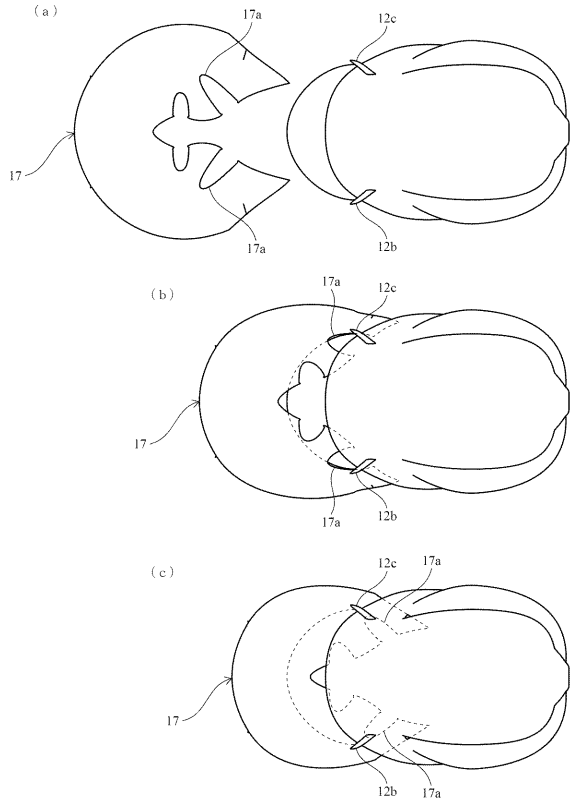
【図 13】



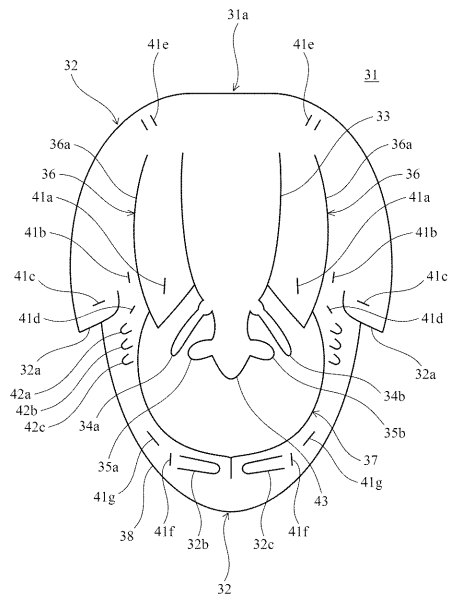
【図 14】



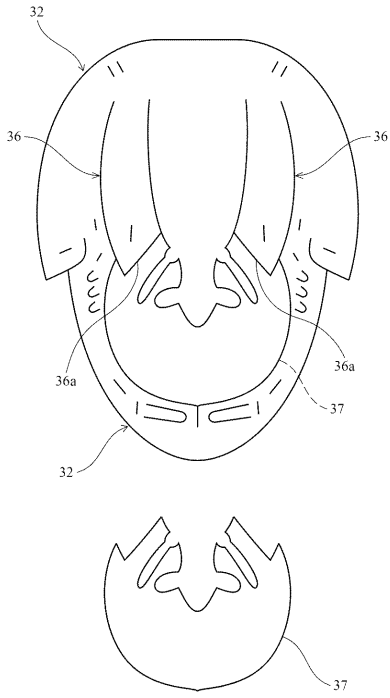
【図 12】



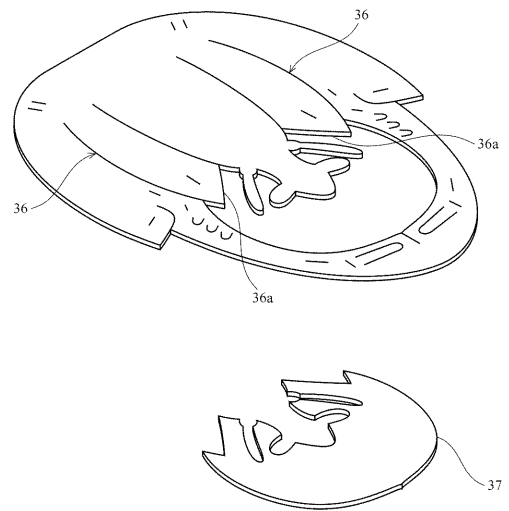
【図 15】



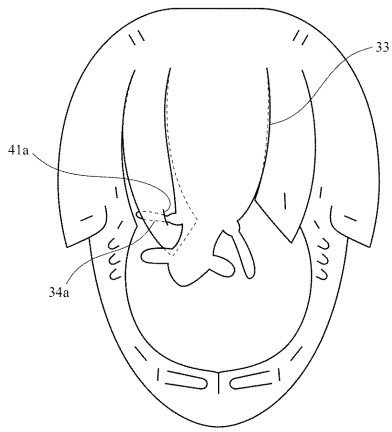
【図 16】



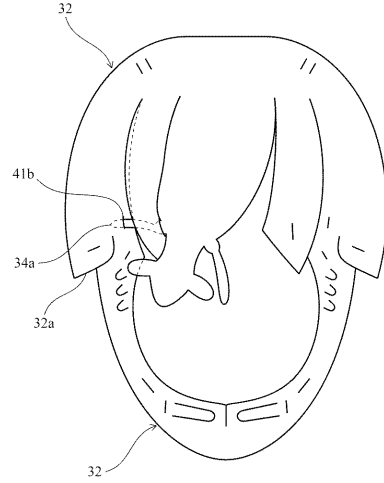
【図 17】



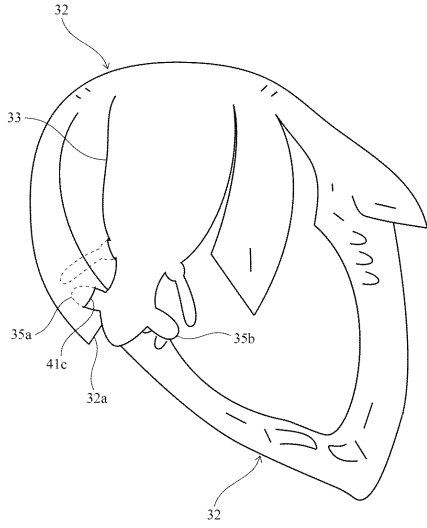
【図 18】



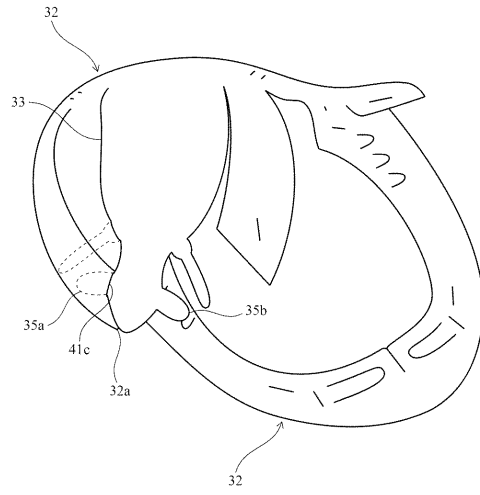
【図 19】



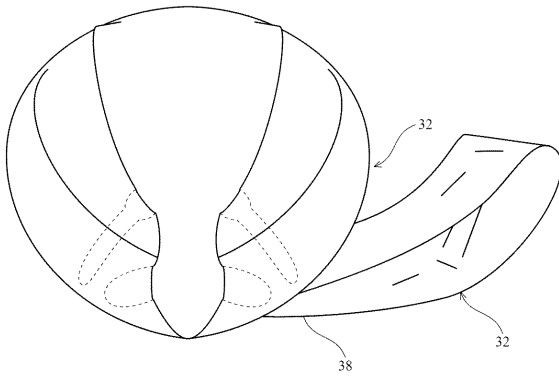
【図 20】



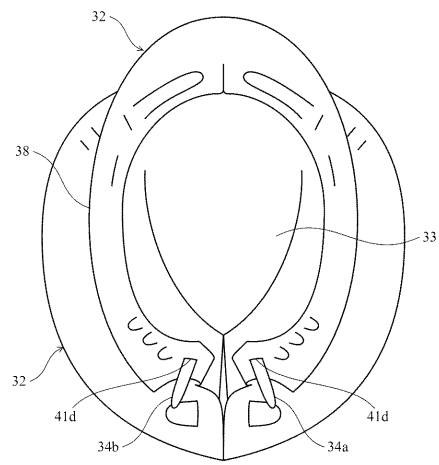
【図 21】



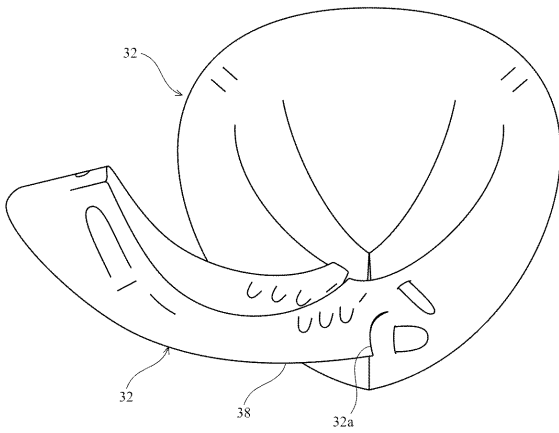
【図 22】



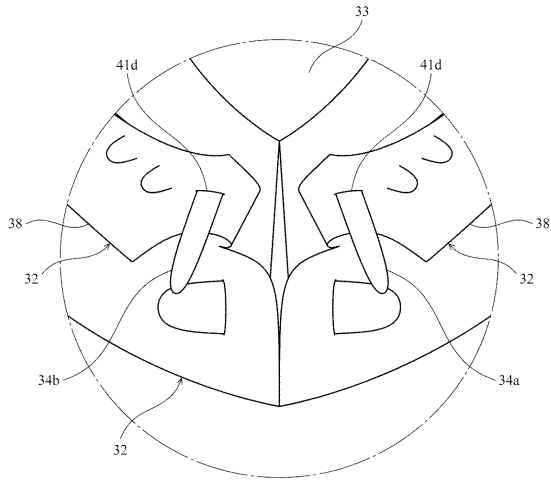
【図 24】



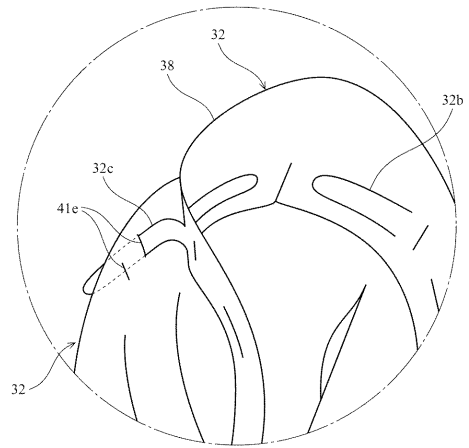
【図 23】



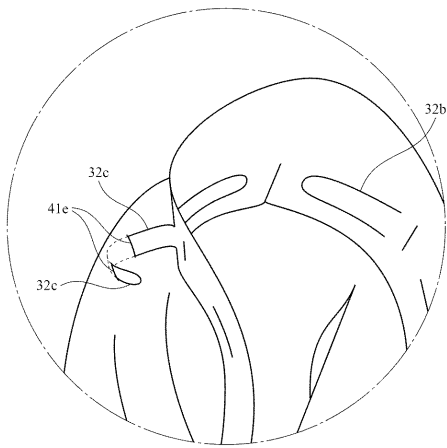
【図 25】



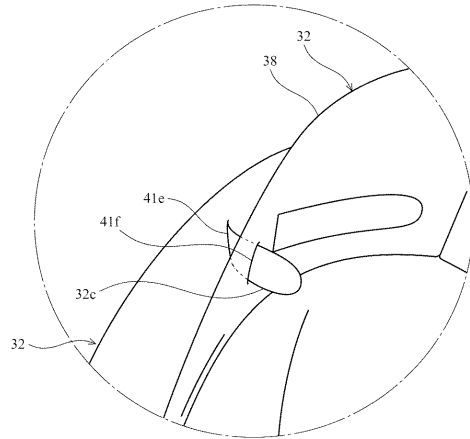
【図 26】



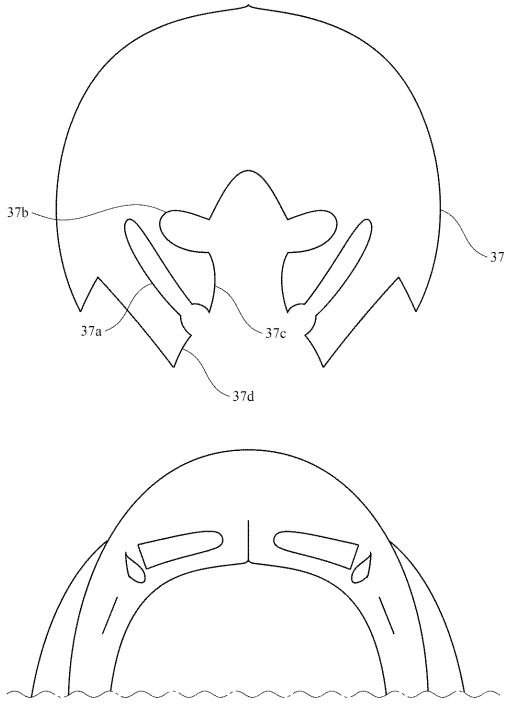
【図 27】



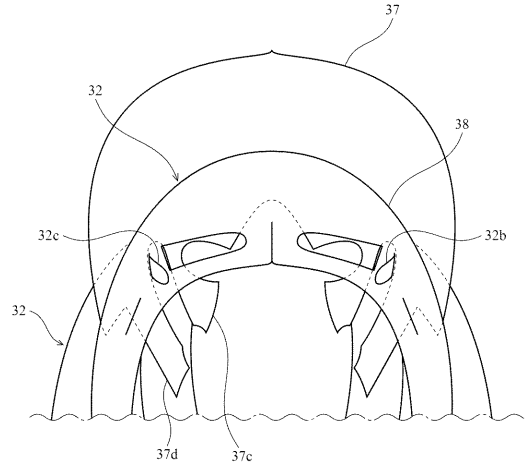
【図 28】



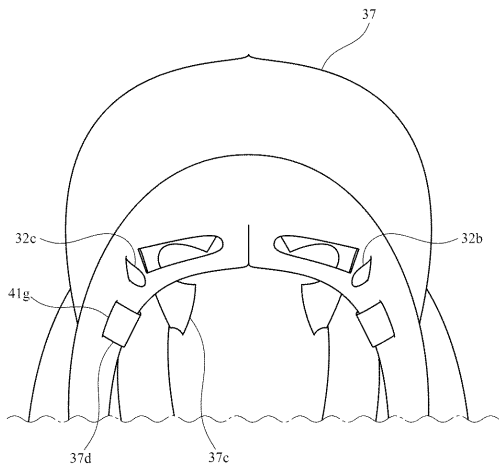
【図 29】



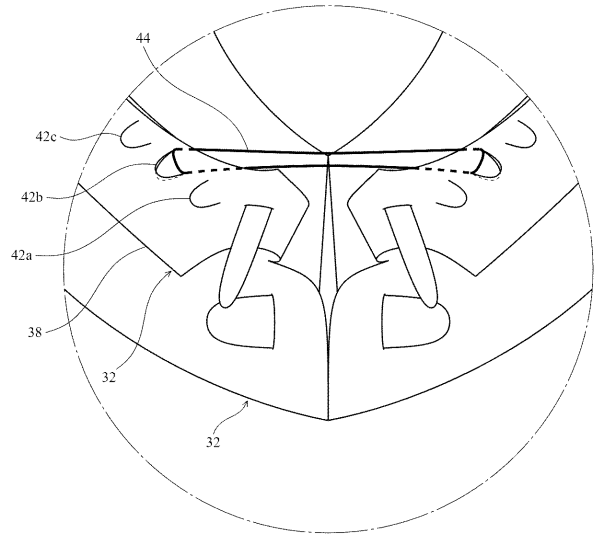
【図 30】



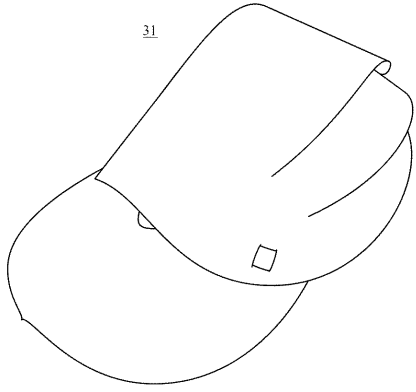
【図 31】



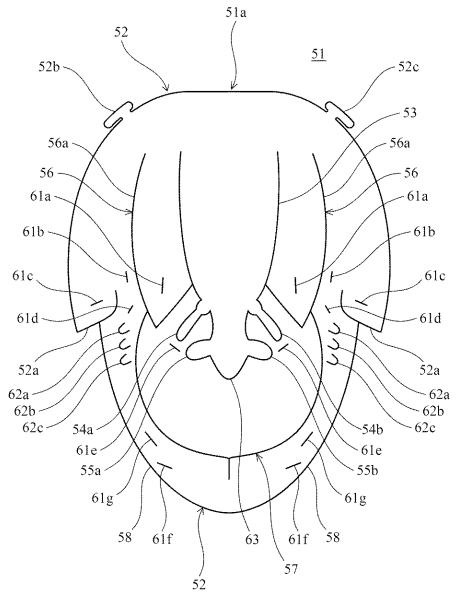
【図 32】



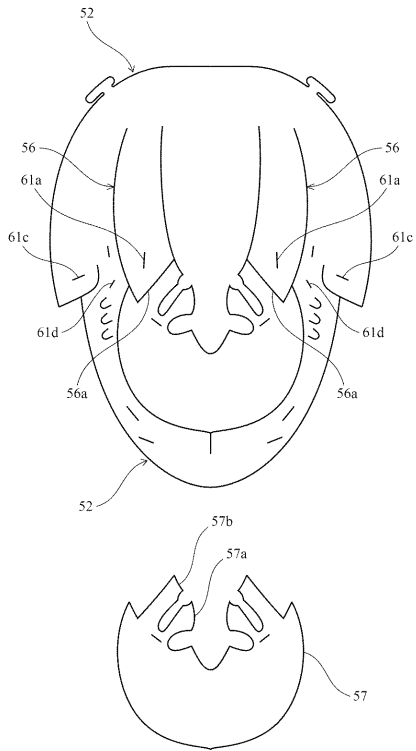
【 図 3 3 】



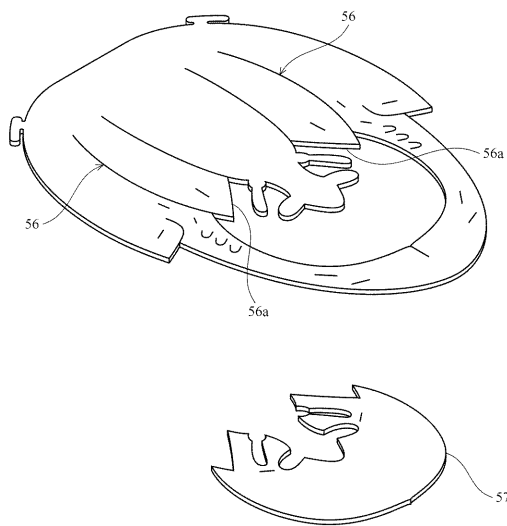
【 図 3 4 】



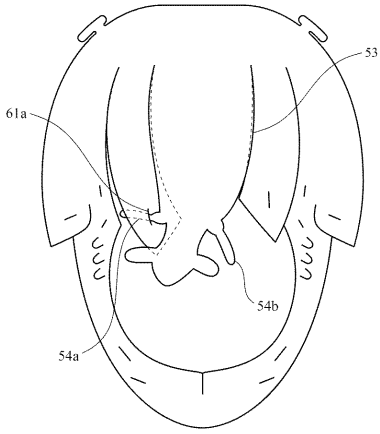
【 図 3 5 】



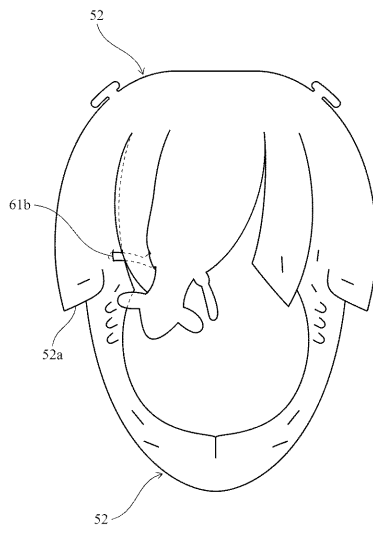
【 図 3 6 】



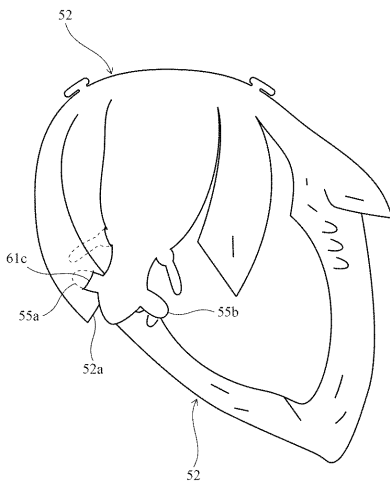
【図 37】



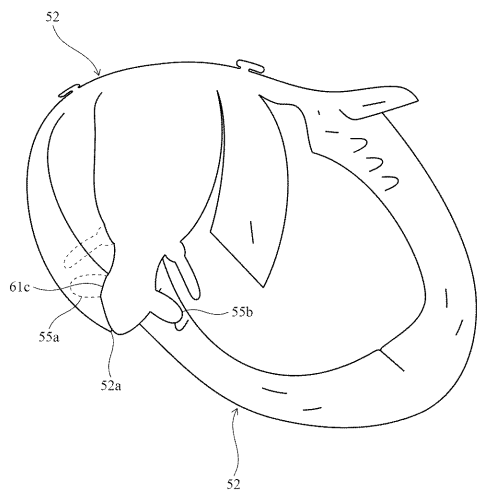
【図 38】



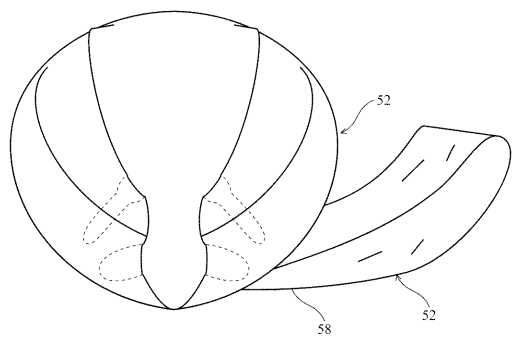
【図 39】



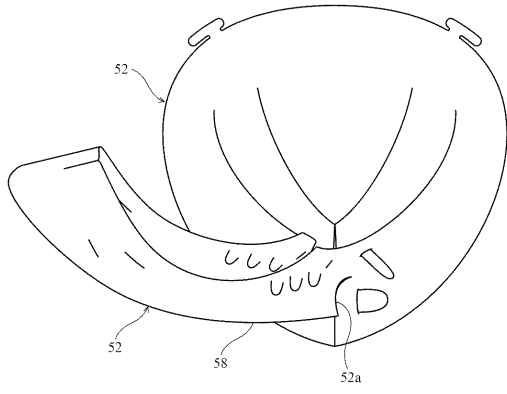
【図 40】



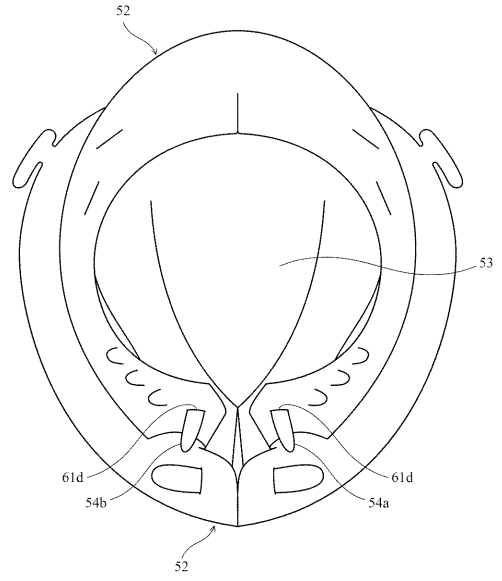
【図 41】



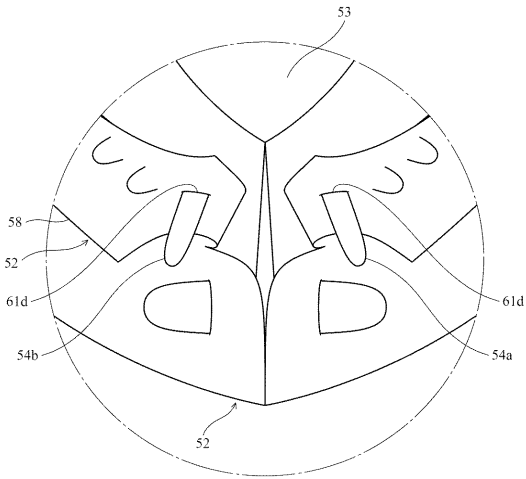
【図 4 2】



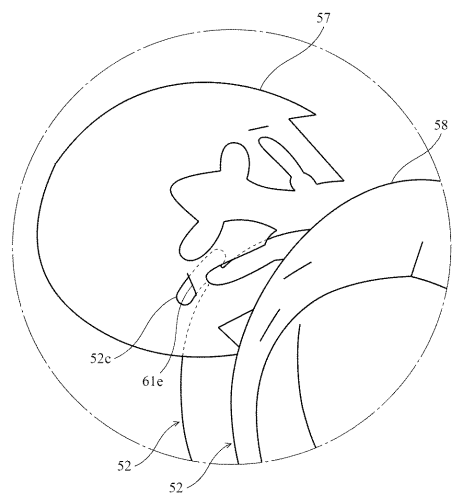
【図 4 3】



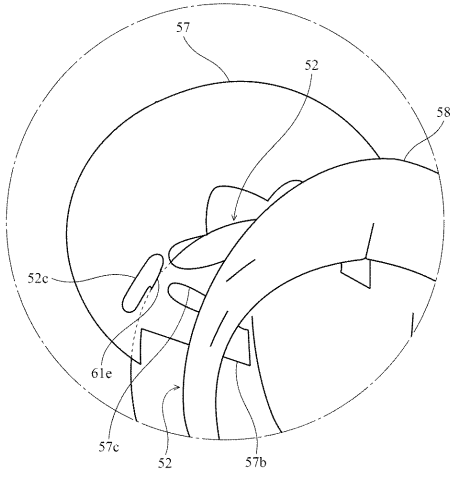
【図 4 4】



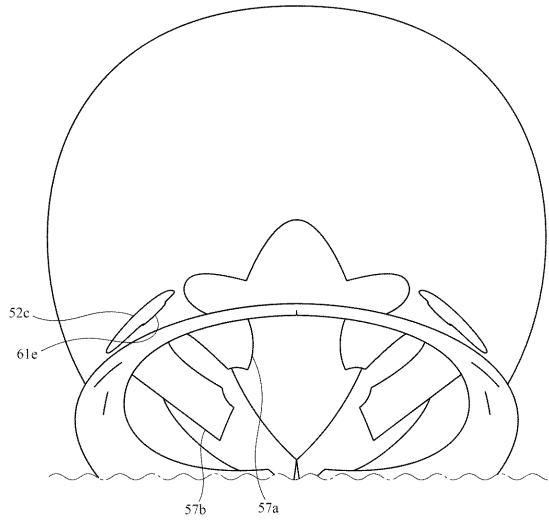
【図 4 5】



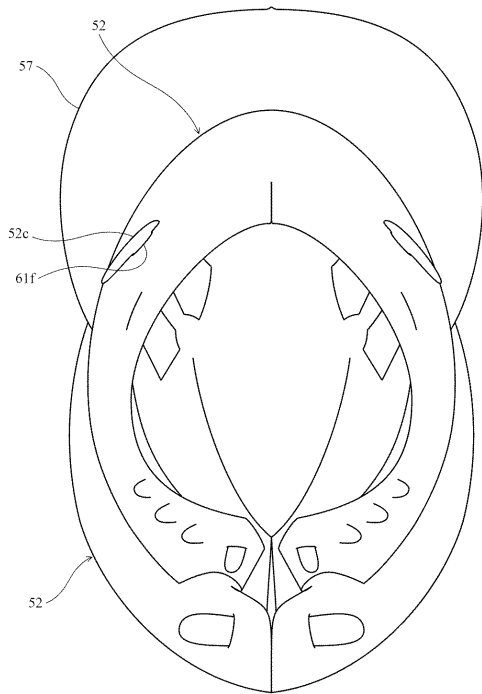
【図46】



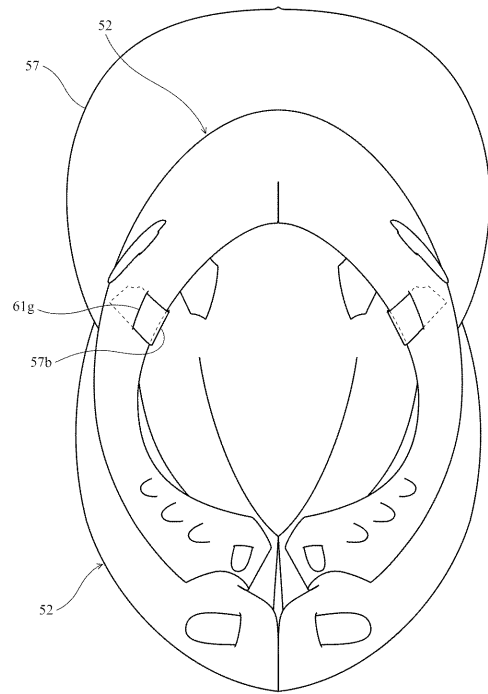
【図47】



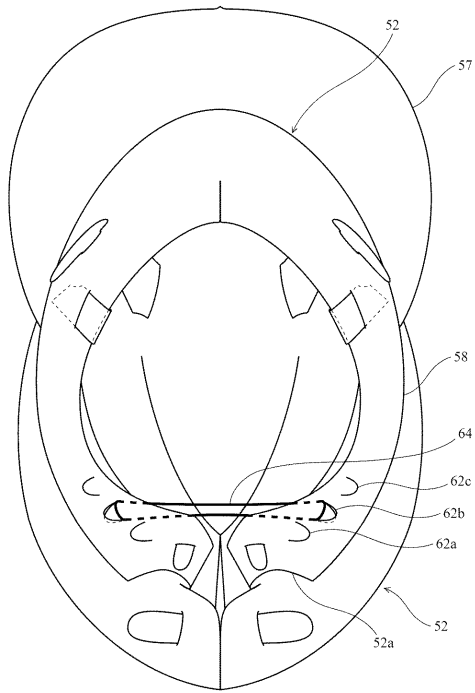
【図48】



【図49】



【図 50】



フロントページの続き

(56)参考文献 米国特許出願公開第2002/0178486(US, A1)
特開2009-057674(JP, A)
実開平02-125925(JP, U)
登録実用新案第3143680(JP, U)

(58)調査した分野(Int.Cl., DB名)

A 4 2 B 1 / 0 0
A 4 2 B 1 / 2 0